コンピュータ演習 第5回

今回のテーマは「**情報モラル**」です。

- インターネットは良い面として、ウェブの最新状況を説明します。
- インターネット上でのトラブルを避けるための、マナーやルールについて説明します。

連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/
- 自宅からでもアクセス可能です

今回の内容

1. ウェブの最新トピック
    - ウェブ上のコミュニケーション
    - ウェブ上での新しいサービス
2. 情報モラル
    - 情報モラルの説明
    - ビデオの視聴と小テスト

今回の課題

- 課題: ビデオの感想をワークシートにまとめる

ウェブの最新トピック

コミュニケーションの手段としての「ウェブ」

企業から個人まで多くの人たちが、ウェブを利用して活発に情報を発信しています。ウェブ状のコミュニケーションによって、情報が広く共有されています。ときには、実社会に影響を及ぼすこともあります。

- 電子掲示板（BBS）
  - 2ちゃんねる（http://www.2ch.net/）、Yahoo!掲示板（http://messages.yahoo.co.jp/）等
- ブログ（Blog）
  - アメーバブログ（http://www.ameba.jp/）、JUGEM（http://jugem.jp/）等
- SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）
  - mixi（http://mixi.jp/）、GREE（http://gree.jp/）、ひょこむ（http://hyocom.jp/）等
- ミニブログ（「マイクロブログ」ともいう）
  - Twitter（http://twitter.com/）等

みんなの情報が集まって新しい知識に

不特定多数の人たちが発信した情報が、さまざまな形でつながることで、流行をいち早くつかむことができたり、新しい知識に生まれ変わったりしています。

- 口コミ情報サイト（商品などの価格、グルメ情報）
  - 価格.com（http://kakaku.com/）、ぐるなび（http://www.gnavi.co.jp/）、食べログ（http://tabelog.com/）等
- Q&A形式のコミュニティサイト
  - OKWave（http://okwave.jp/）、Yahoo!知恵袋（http://chiebukuro.yahoo.co.jp/）等
- ソーシャルサービス
  - はてなブックマーク（http://b.hatena.ne.jp/）、delicious（http://delicious.com/）等
- Wiki（ウィキ）
  - Wikipedia（http://ja.wikipedia.org/）、livedoor Wiki（http://wiki.livedoor.com/）等

個人のデータをみんなで共有

個人が所有している、写真や動画などをアップロード（投稿）して、手軽に共有するサービスに注目されています。

- 写真共有
  - Flickr（http://www.flickr.com/）、Picasa（http://picasa.google.co.jp/）等
- 動画共有
  - YouTube（http://www.youtube.com/）、ニコニコ動画（http://www.nicovideo.jp/）
- ライブ動画
  - Ustream（http://www.ustream.tv/）
- 文書、表計算、プレゼンテーション
  - Googleドキュメント（http://docs.google.com/）等

情報モラル

インターネットの「光と影」

パソコンやインターネットが普及したおかげで、多くの人と手軽にコミュニケーションができたり、世界中の商品を簡単に購入できたり、インターネットにある膨大な情報を得ることができたり、私たちの生活は豊かになりました。

その反面、**ささいな書き込みがトラブルに発展**したり、**メールを使ってお金を騙しとる詐欺**など、インターネットの世界はトラブルや危険と隣り合わせでもあります。

自動車社会で法律や交通ルール・マナーが必要なように、情報化社会でも、パソコンやインターネットを安全に利用するために、**利便性**と**危険性**、そして**ルールやマナー**を理解する必要があります。このような考え方を「**情報モラル**」といいます。ネットワークを利用する人たちがお互いに快適に利用するために、守ってほしい考えです。

情報モラルのビデオの視聴

「情報倫理デジタルビデオ小品集3」というビデオを見て、インターネットの安全性やマナー・モラルについて学習します。

- 企画著作：放送大学学園

ビデオの内容

ビデオは、8つのパートで構成されており、全部で30のテーマに分かれています。大学生の日常生活や学生生活に関連するテーマを中心に、ドラマによる事例と対策を紹介しています。

今回は、その中から、次のテーマに絞って視聴します。（時間の都合により、すべて視聴しない可能性があります）

- テーマ「便利と信頼性」
  - 13. クチコミ情報は信頼できる？
- テーマ「参加」
  - 15. SNSについた謎のコメント
  - 17. 匿名掲示板の荒らしはスルー
- テーマ「取引」
  - 21. 巧妙になったワンクリック詐欺
- テーマ「情報発信」
  - 27. Web貼りつけのレポートはNG
  - 28. レポートのズルはデンジャラス

ビデオに関する小テスト

ビデオの内容を確認するために、ビデオに関する、簡単な小テストを行います。3択問題で、1つのテーマにつき2問ずつ問題があります。

小テストの答えは、ビデオを見ていればわかるようになっています。ビデオを視聴しながら、該当するテーマの問題を解いていってください。

第5回の課題

情報モラルのビデオの感想をまとめる

課題の内容

今回の授業で見た、情報モラルのビデオについて、ワークシートを活用して、感想をまとめてください。

感想は、次の3つの構成で書いてください。（文字数は全体で400文字以上）

1. 賛成・同意できたテーマ
    - ビデオ（とくに解説編）の内容に対して、強く賛成・同意できたり、興味を持ったテーマを「1つ」だけ取り上げて、その理由を書く
    - 自分や知り合いなどが、テーマに関連する体験していれば、それについても書く
2. 疑問を持ったテーマ
    - 内容に疑問を感じたり、あまり共感できない・よく意味がわからなかったテーマを「1つ」あげて、その理由を書く
3. 全体についての感想
    - 視聴したビデオ全体の内容に対して、全般的な感想や共感したところ、あらためて注意しようと思ったこと、自分の意見などを書く
    - 自分でも何か体験していれば、それについても書く

> 次回の授業で使用しますので、しっかりと書いてください。

課題の提出

小テストのプリントの裏側にワークシートがあるので、手書きで書いてください。読みやすいように、**きれいな字でなくても良いので、丁寧に書くこと**。

提出期限

- 今回の授業終了までに、教員またはSAに提出すること